

自分でやってみたい！

ねらい：簡単な身の回りのことを自分でやってみようとする。

作成日：令和5年2月24日

対象児：0歳児みにばら組

作成者：喜多瑞穂



振り返り

靴や靴下の着脱、衣服を着たりなどに興味を持ち、「じぶんで！」と頑張る姿がよく見られるようになりました。初めは、1歳児さんが靴を履く姿を「ばら組さん上手に履きよるよ！すごいなあ」と関心が向くように声をかけたり、お友だちが出来たところを「〇〇ちゃんすごいね！上手に履けたな」など着脱に気づくように声をかけるようにしていました。靴のマジックテープを援助してもらいながら自分で付ける・外す、ズボンを履くときに促されて足を上げる等小さなステップを繰り返しているうちに、やってみたい気持ちが出てきて今では、靴下を引っ張りながら脱ぐ、ズボンを自分でおろす、靴を履こうとする、ひとりでマジックテープを外すなど、自分から意欲的にしようとする姿に変わってきました。まだ上手くできずにすぐに諦めてしまうこともありますが、友達の頑張りを見て自分も頑張ろうとしたり、保育者や友達に見てもらい、褒められる喜びやできた達成感を味わえるようにすることを意識しながら関わるようにしました。4月には進級して新しいクラスでまた「がんばろう」と思えるように、成功体験や頑張る気持ち良さを味わえればと思います。(自立心・思考力の芽生え)